令和８年 11 月 13 日

各　　位

会　社　名　　日本基礎技術株式会社
代表者名　　取締役社長　中原　巖
（コード番号　１９１４　東証スタンダード市場）
問合せ先　専務取締役執行役員 事務管理本部長　田中　邦彦
（ＴＥＬ　０３－５３６５－２５００）

第２四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和８年５月 14 日に公表しました令和９年３月期第２四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

１．業績予想との差異

令和９年３月期第２四半期(累計)連結業績予想数値の差異（令和８年４月１日～令和８年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	百万円 17,600	百万円 1,208	百万円 1,328	百万円 974	円　銭 53.25
実績値（Ｂ）	14,229	1,504	1,609	792	43.33
増減額（Ｂ―Ａ）	△3,371	296	281	△182	―
増減率（％）	△19.2％	24.5％	21.2％	△18.7％	―
(ご参考)前期第２四半期実績 (令和８年３月期第２四半期)	13,121	802	1,058	734	39.27

２．差異理由

売上高については、米国現地法人でのダム基礎工事において、地質条件の相違に伴う請負金の交渉が継続しており、売上計上が出来なかったため、計画を 33 億 71 百万円下回りました。

一方、利益については、米国現地法人において、完成工事で利益の積み増しができたことに加えて、ＬＮＧ精製プラント基地地盤改良工事での追加工事を続けて着工できたことから、営業利益および経常利益が計画を上回りましたが、同法人において発生した交通死亡事故の和解金として支払われる訴訟損失引当金繰入額を計上したことから、中間純利益については計画を下回りました。

３．通期業績予想

令和９年３月期の通期業績予想につきましては、一部大型工事において設計変更に伴う契約交渉が継続しているため、令和８年５月 14 日に公表しております予想数値から変更を行っておりません。

以　上